

Vol
192

「定着しつつあるインフレに要注意！」 ファンド選びの際に押さえておきたいポイント

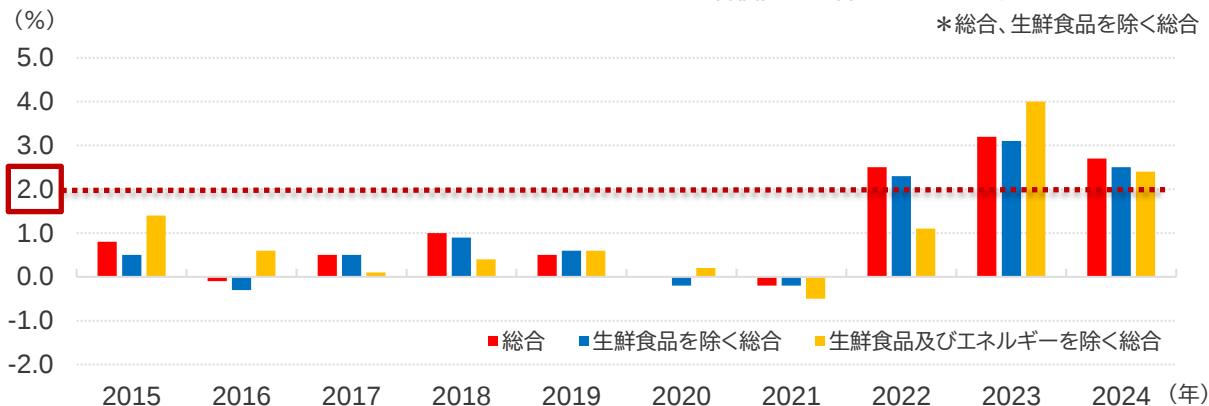
総務省が1月24日に発表した2024年の消費者物価指数(全国、年平均、総合)は前年比で2.7%上昇しました。日銀が物価安定の目標とする2%を3年連続で上回り、インフレが定着しつつあります。ガソリン価格や電気代、食品や日用品など、生活に直結するモノの値上がりが目立つなか、日常生活の負担を感じる方も多いのではないのでしょうか。

■消費者物価指数*の推移(前年比)

期間:2015年~2024年 *全国、年平均

日銀が掲げる2%の物価目標を3年連続上回り*
物価高が定着しつつあります。

*総合、生鮮食品を除く総合



出所:総務省

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

物価が上昇する局面では、同じ金額で購入できるモノやサービスの量が減ってしまいます。言い換えると、実質的にお金の価値が目減りすることになります。

預貯金の利息が、物価上昇に負けないくらい高ければよいのですが、残念ながら現在の利息では、それほど多くは期待できません。

そこで、物価上昇から資産を守る有効な手段の1つとして、「資産運用」があります。

コールセンターには、資産運用を始めることをご検討中のお客様から、「どういったファンドを選ばばよいのか?」といったお問い合わせをいただくことも少なくありません。

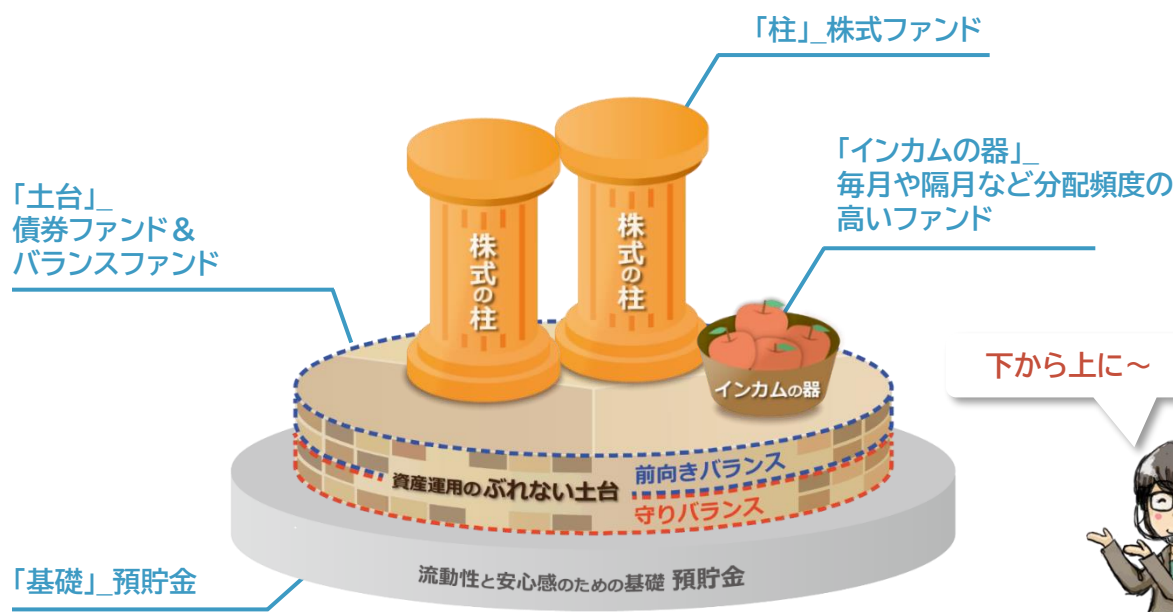
そこで今回はファンド選びの際に押さえておいていただきたいポイントについてお伝えします。大事なことは資産運用の“全体設計”からスタートすることです。

是非、ファンド選びの参考にしてみてください。

資産運用の“全体設計”「基礎」・「土台」・「柱」・「器」

自分にピッタリな家を建てるために必要な一歩は、どんな家を建てたいのか考えることだと思います。例えば、家はコンクリートの「基礎」から作り、その上に建てたい家の広さや高さに応じた「土台」を組んでから「柱」を何本か立ち上げていくと思います。

ファンド選びも同じように、それぞれの目的に応じたものを“下から上に”考えるとよいかもしれません。



“下から上に”ファンド選びを考える

「基礎」_預貯金

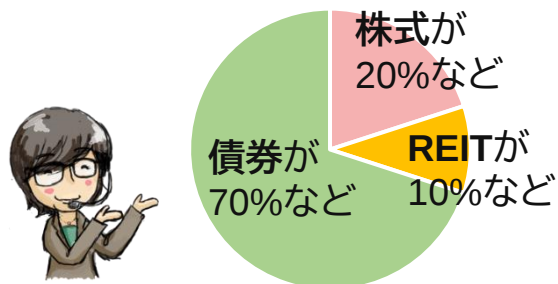
生活に必要で投資に回してはいけない資金が「基礎」にあたります。「基礎」である預貯金が十分でないなら、投資は時期尚早かもしれません。一方で基礎ばかり大きくても、家はいつまでも建ちません(資産の成長は期待しづらくなります)。

「土台」_債券ファンド&バランスファンド

預貯金の基礎の上につくる「土台」は、預貯金+αを期待してインフレに負けないこと・相対的に安定したリターンを期待して運用する資金となります。具体的には債券ファンドや複数の資産に分散された「バランスファンド」が相当します。バランスファンドは多種多様なため、債券が多めの「守りバランス」と少なめの「前向きバランス」の“2層構造”で考えるのも一法です。

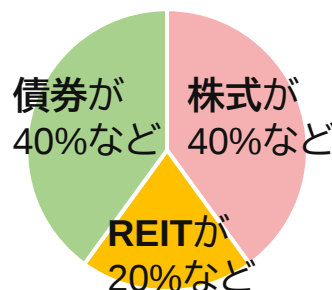
守りバランス

債券が60%以上配分されているような「守り重視」の配分



前向きバランス

株式とREITの合計が50%を超えるような「成長重視」の配分



※上記は資産配分の一例です。

「柱」 株式ファンド

時間をかけて資産を大きく増やすための資金が「柱」になります。家を大きくするように、資産を大きく育てていくためにも「株式の柱」が欠かせません。家の柱を切ったり外したりしないように、長期保有できるファンドを選びましょう。1つにしぼるのではなく、性質の違うファンドを数本持つのも大丈夫です。

「インカムの器」 毎月や隔月など分配頻度の高いファンド

絵にある「インカムの器」とは、毎月や隔月など分配頻度の高いファンドのことです。投資信託における分配は、ファンドを一部売却しているのと同じことなので、定期的な“現金創出機能”という理解が正解です。「土台」や「柱」とは明確に分けて保有し、運用はするけれど一部を取り崩しながら使いたい場合の選択肢になります。

最後に

基礎・土台・柱・器は人によってその配分はまちまちですが、資産運用の目的にあわせてご自身でアレンジできる自由度があります。新NISAがスタートして2年目を迎えました。が、「どのファンドを選ぶか」という視点からではなく、「基礎・土台・柱・器のどこにどれくらいの資金を配分するか」という全体像から考えてみるのも良いかもしれません。そのうえで、新NISAのつみたて投資枠や成長投資枠に加えて、新NISA対象以外も含めたファンド選びをしてみてくださいはいかがでしょうか。



nikko am

コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

日興アセットマネジメント